

# 関高ニューズレター2023 No.27

## 保健講話

令和5年11月9日(木)

「恋をしてもしなくても是非、みんなに聞いてほしい話！」を演題として、名古屋にある咲江レディースクリニック院長の丹羽咲江先生に全学年を対象にご講演いただきました。先生はクリニックでの治療にあたりながら、各種学校や少年院での講演活動に加え、名古屋市栄で「街角保健室☆ケアリングカフェ」と題して月2回ボランティア活動もされています。様々な現場でのエピソードも交えながらのご講演は、自分には関係ないと思っていた「性」や「命」について、自分のこととして捉える機会となりました。



講演会の様子



性感染症の広がり方の実験の様子

## 【生徒の感想】

- ・性に関することは恥ずかしさや抵抗をどうしても持ってしまいますが、今日の講演を聞き、それらに勝るくらいの大切さ、恐ろしさを実感することができました。インターネットとは異なるものがあり、インターネットがいかにも正しくない情報で溢れているかを知り、恐ろしいと思いました。誤った情報に流されずに生活したいと思います。(後略)
- ・①不特定多数の人と性行為を行わない。②事前に病院で性感染症の検査を行う。③必ずコンドームを着用して性行為を行う。3原則は非常に大切で、不妊症などの生殖機能の低下だけでなく、子宮頸がんや AIDS など将来の危険を未然に防ぐためにも正しい知識を身に付け、毅然とした態度で向き合っていくことが必要だと思った。非常にセンシティブな内容でもあり、相談など憚られることも多いが、専門機関などに早めに相談していくことが大切だと分かった。(後略)
- ・(前略)付き合うことにおいて「性的同意」が大切で、お互いの「いいよ」という気持ちを確認することが必要なのだと知りました。好きだから我慢が大事、相手は何でも聞いてくれるという考えは間違いで、好きだけど「イエス」「ノー」が言える関係が望ましいのだなと思いました。

他にも月経やピルの効能について、デートDV、対等な関係についてなどもありました。

最後に、丹羽咲江先生は、中日新聞にコラムも掲載（毎月最終金曜日）されています。また、X（旧 Twitter）やインスタグラムでも情報を発信されていますので、正しい知識を得る際の参考にしてください（#街角保健室 で検索可能）。